



14日、大和市東神トラックステーションにて『運輸の日』を実施。今回の担当は川崎地区連絡協議会のメンバー7名に行動しました。

天気予報通り気温も上昇！行動者も上着を脱ぎ汗だくになりながら、ドライバーの皆さんに聞き取り調査を行いました。

調査内容は、①企業規模 ②労働組合有無し ③36協定に必要な労働者代表はどなた？ ④ご自身の労働時間管理？ の設問を行いました。

ここ東神トラックステーションには、多くは長距離輸送のトラックドライバーが利用されている施設。

②の労働組合の有り無しについては、「ある」との回答が割かし多い。③の周知については、あまりされていない状況で。特に、100人以上の企業では、「わからない」「多分誰かがやっている」との回答、30人以下の企業では「知っている」との回答が多かった。④の労働時間管理については、企業任せが多く、ご自身で管理されていない状態であった。

2024年改革（問題）については、今後様々な形で労働者に負担がかかってくるのではないかと、荷主からの圧力や企業からの違法な扱い！『変だな〜』と感じたときは→フリーダイヤル『0120-109-760』へ気軽に相談してみてください。

本日の行動者

2/14 運輸の日、とても暑い中で、①従業員の人数 ②組合の有無 ③団体交渉や36協定はどうしていますか？ ④時間外規制について、会社はどのような対応を！

この質問とチラシ&ボールペンを配りながら、午前午後とアンケートをおこないました。労働組合が「ある」との回答が多いと聞いていましたが、私の担当した所は「ない」との回答が多いように思えます。労働者代表が誰で、どのように会社と協議しているかわからない。時間管理は、個人で管理もしていないし、そもそも歩合。そんな会社ではない。など、ドライバーの環境が悪いところが多い感じがしました。

阿部健次郎（川崎運送労働組合）

本日の行動は天気には恵まれましたが、車両の出入りが想定外に少なく、なかなか調査の数が増えませんでした。その中でも2024年問題は周知が進んでいる様です。個人事業主の方がいましたが、雇い主としての悩みもあり、結局規制は絵に描いた餅だとの意見があり、印象に残りました。

浅井 義昭（丸全昭和運輸労働組合）

本日は①会社の従業員数②会社に労組はあるか③時間外労働の状況について質問をしました。やはり印象として従業員数に応じて労組の組織状況が変わっておりました。少人数で労組もないと会社に提案もできない、やはり経営者に煙たがられることを恐れる声が多かったです。運輸労連には産業の構図を変えるようお願いしたいと言われたのが印象的です。そして以前とした自分の残業時間を把握していない人が多く、適切に管理されているとは言えない状況でした。運輸産業のためにも改善により強化する必要性を感じました。

小室 裕貴（日新労働組合）

運転手さんに①ドライバー人数、トラック数 ②組合の有無 ③残業時間月80時間、年間960時間をドライバー仲間は知っているか？についてアンケート調査を行なった。印象に残った回答は、ドライバーさんは規制が始まるのは知ってはいるが難しいと言う回答もあれば、何年も前から残業時間管理をやっているから大丈夫と言う回答もあった。会社によって規制への対応の違いがハッキリとわかる回答となった。努力義務では無く、規制なので対策をしていない会社はどうなるのか？ドライバーはどうなるのか心配になるアンケート調査となった。

中島 直樹（日通川崎運輸労働組合）

2024年問題の内容を結構理解してる人が多かった。会社側も努力している所もある一方、自分の残業時間を理解してない人もいたり両極端でした。給与が減る不安を感じたりする人もいて色々な話を聞けました。

菊池 良勉（SBS ロジコム労働組合）

トラックの入れ替わりも結構ありましたがいつもと比べて空きもあることが多かった気がしました。先週の雪の影響で物流業界が、少し元気がないのかと感じました。

聞き取り調査の中で10人前後の所は組合がないところが多かったです。入社時の契約で組合を立ち上げないことにサインさせられたりもあるようでした。

残業時間についてはチラチラ聞いてはいるけど内容まではよくわかってないという会社が3分の1程あったのが現状でした。

川崎 琢也（楠原輸送労働組合）

全国各地のドライバー皆様の労働環境を、生の声でお聞きする事ができ、とても貴重な体験になりました。特に長距離ドライバーの方は、自分の残業時間はわからないという方も多くいらっしゃり、個人的に驚きました。

また2024年問題の質問に際して印象に残ったのは、まだ駆け出しの比較的小規模な会社様ながら、待機時間等が多い仕事は大企業の仕事でも断る。

売上が減少してもドライバーの労働環境を優先して守る事を徹底しているというお話も伺う事ができ、とても素晴らしいと感じました。

松岡 孝一（丸運トランスポート東日本労働組合）

